

その他の生きもの報告

15種以外の生きもの報告が今年は2322件ありました。特に報告が多かった「桜丘すみれば自然庭園」を見てみましょう。

桜丘すみれば自然庭園

故・植村傳助氏の構想のもと、武蔵野の風景を再現した庭園です。クヌギやコナラの雑木林、スミレの咲く広い草地などがあり、多くの昆虫や野鳥がくらす自然豊かな空間です。自然解説員が常駐しています。

所在地：世田谷区桜丘 4-23-12
開園時間：午前9時～午後5時
(10月～3月は4時)
休 園 日：年末年始(12月29日～1月3日)

オオカマキリ
オオカマキリは草丈の高い場所が好きなんだ！冬でも卵が見つかるよ！

オタマジャクシ
春、池の中にはたくさんのオタマジャクシがいるよ！

キイロトラカミキリ
枯れ枝が積んである場所ではカミキリムシやマムシが見られるよ！

コモンツチバチ
花の蜜や花粉を食べるハチやハナアブ、ハエなどが集まるよ！

コゲラ
枯れた木には色々な虫が入るのでコゲラの食事場にもなるんだよ！

花壇
草刈り残し箇所
あさざ池
とんぼ池
立ち枯れ
材積み箇所

正門
ネイチャセンター
環状八号線

砧の山さん(生物多様性アドバイザー)
桜丘すみれば自然庭園では小さな生きもの利用しやすい棲みや観察しやすい環境を作っています。何か見つけたら生きものに詳しいインタープリターがいつもいるので聞いてね！

生きものピックアップ紹介

- フン虫の仲間 -

センチコガネ
ムネアカセンチコガネ

調査の対象種以外にもたくさんの生きもの情報が寄せられました。その中で、動物のフンを食べるセンチコガネという虫が報告されています。ファール昆虫記の最初に出てくるフンコロガシと同じ仲間ですが、フンをころがすことはしないようです。また、同じように近い仲間のムネアカセンチコガネという、世田谷ではとても珍しい虫も報告されています。オレンジ色をした光沢があり、形はセンチコガネに似ています。しかし、ムネアカセンチコガネは、フンではなく地中のキノコを主に食べるようです。世田谷には、他にもまだまだいろいろ種類生きものが住んでいると思います。これからも観察を続けて、ぜひ知らせてください。

まちの 2021 生きものしらべ

人も生きものも住みやすい世田谷にするためにはどうしたらいいのか。いっしょに考えるきっかけとして、どんな生きものがどのような場所にどれくらいいるのか、子どもから大人までが参加して調査を行っています。みなさんからの今年の報告をまとめました。

2021年 報告件数 ランキング

報告件数 **3015件**
※調査対象外の報告も含む

- 1位** アゲハチョウ類 (248件)
- 2位** ヤモリ (205件)
- 3位** カマキリ類 (62件)
- 4位** オナガ (33件)
- 5位** カナヘビ&トカゲ (25件)
- 6位** カタツムリ類 (21件)
- 7位** カブトムシ&クワガタ類 (20件)
- 8位** クマゼミ (17件)
- 9位** ヒキガエル (16件)
- 10位** ヘビ類 (10件)
- 11位** コウモリ (8件)
- 11位** タヌキ (8件)
- 11位** ツバメの巣 (8件)
- 14位** ハクビシン (6件)
- 14位** ヒグラシ (6件)

報告してくれたみなさんから寄せられた感想をご紹介します。

- ①「生きものしらべ」に参加しよう！と思った「きっかけ」は何ですか？
- ②印象に残ったこと、楽しかったこと、苦労したことなどあったら教えてください。
- ③調べてみた結果、どんなことに気づきましたか？
- ④その他、ご意見等

あきとーんD(9才)
①よくまわりに色々な生き物がいるから、それをみんなに知ってほしいと思ったからです。
②たぬきの写真をとるときしゅんかんてきにくけてしまい、それが大変だった。なその生命体コウガイビルが印象にのこりました。
③家のまわりにこんなにたくさんのしゅるいの生き物があるとは気がませんでした。
④今年も来年もさん加したいです。

カマキリ太郎(10代)
①小学校で配られた「まちの生きものしらべ」を読み、家で育てていたカマキリなどの昆虫が好きで自分なら役に立つかもしれないと思ったからです。
②自分の住んでいる地域にいる生きものが改めて分かり、色々な世田谷区の生きもの生態も知りたくなりました。また、家でカマキリを飼育しているため、夏などはよくエサのバッタやチョウを探しに行くのですが、まずそれが楽しいです。そして、エサを探しているとトンボやセミなどが見られるので、つかまえて観察します。するとその生きものへの理解が深まるのが楽しいです。
③自分の住んでいる地域にいる生きものは何が多く、「まちの生きものしらべガイドブック」の裏表紙と見比べ、何が少ないかを確認し、次の日に少ないものを探し、改めて少ないことを確認すると、後日、世田谷区他の地域で探し発見すると、何の生きものはどこが多いのかに気づいた。

ヤモリ坂61(60代)
Q.「ヤモリ」の調査は何年前から始めましたか？
A. ヤモリを主に調査し始めたのは2016年です。6年前からです。2008年に「まちの生きものしらべ」に参加して、当時は出来るだけ特定の種類に偏らずにしらべようとしていました。
Q. 長年のヤモリの調査から感じられる変化などはありますか？
A. そのシーズンに孵化した小さな個体を見かける機会が増えたように思います。そのせいか、複数年生きてきた大きな個体を見かける割合が減りました。絶対数に換算すると、ヤモリの数が増えているのかもしれませんが、家の周辺に植栽が増えることが原因となつて、ヤモリの生息数の増加につながっている可能性があります。
Q. ヤモリにこだわった理由はありますか？
A. 愛らしい外見で、容易に観察できる人家に住んで人の生活の身近にいるので親しみがある。毎年、同じところに現れる。眼が大きくて見た目にかわいらしい。
④これから未来に生きていく大学生、高校生、中学生、小学生に、身近な生きものへの視線を持つことの楽しさを分かち合えればいいなと思います。ここ5年くらいで玄関に設置された防犯カメラが増えました。おそらくヤモリを撮影する私の姿を防犯カメラが記録していると思います。防犯カメラに撮られた私の写真を不気味に思われないように、来シーズンは少し工夫しようと思います。

2021年まちの生きものしらべまとめ

今年のベスト3は、上位からアゲハチョウ類、ヤモリ、カマキリ類となっています。アゲハチョウ類は、日常の暮らしのなかで出会う生きもの代表です。でもヤモリは気を付けていないとなかなか出会えません。熱心な参加者のおかげで、ヤモリの様子がよく分かります。気になるのは、順位の下がったツバメの巣とヒグラシです。来年は、ツバメの巣やヒグラシの鳴き声にも注目してみてください。

生きものアドバイザー 伊藤さん

自然と仲良くし隊(90代)
①毎朝健康の為、砧公園をよく散歩して居りますが、その際季節ごとに色々な昆虫や鳥花が見られ、その時々に見た動、昆、植物を記録すると面白いのではないかと興味参加しました。
②砧公園の小川でカワセミを見た事。青大将が椎ノ木を這い昇り、柏の木のウロに入って行った事。オオタカが見られた事。
③世田谷には未だ自然が多く残って居ると思った。
④外来種の植物が増えて来て居り、駆除が必要ではないかと思う。

事務局から
今年もたくさんのご報告ありがとうございました。皆さまからのご報告から、生きものに出会った時の感動やうれしさが伝わってきました。私たちの生活は、たくさんの生きもののおかげによって支えられています。生きものを守るためにも、身のまわりに目を向け、生きものすみかとなるみどりを大切にいきましょう。

発行：世田谷区みどり33推進担当部みどり政策課
〒158-0094 世田谷区玉川1-20-1 電話：03-6432-7905
発行日：2022年3月

世田谷区のHPでも紹介しています。
世田谷区 まちの生きものしらべ で検索

